

7月20日～ 利尻山

藤村 敏幸

山名	利尻山	山行名	利尻山登山と観光			
ルート	7月20日、礼文岳登山、21日利尻山登山					
山行日	2022年7月19日～22日	天候	快晴			
参加者	リーダー：藤村 サブリーダー：中田 男性：若林 広瀬 西川 女性：倉光、玉井、伊藤多恵子、北條、和田、秋山 合計：11名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	北麓野営場	集	4:30	利尻岳山小屋	着	12:19
		発	4:36		発	12:22
	長官山	着	7:59	長官山	着	12:32
		発	8:16		発	12:56
	利尻岳山小屋	着	8:27	北麓野営場	着	15:51
発		8:30	発			
利尻山	着	10:17		着		
	発	10:59		発		
<p>7月21日は快晴、4時頃から多くの登山客が準備をしている私達の前を通り登り始めている。4時36分に北麓野営場を出発する。直ぐに日本百名水の甘露泉に着き、名水を補給する。その後は平坦な山麓の樹林帯を森林浴しながら整備された緩やかな勾配の登山道を進む、6時頃に簡単な朝食をとる。歩き始めて2間以上経過すると樹林帯を抜けて、クマザサが生い茂る稜線に出ると美しい海岸線と駕泊の町を眺めることができ皆で感動する。目の前の大きな頂きを超えると長官山で、それまで見えなかった尖った雄大な頂上が現れた。振り返れば遠くサハリンの海岸線をぼんやと見ることができ最北にいたことが実感された。9合目から頂上まで一段と険しい道であるが難所には階段やロープが設置されており安全に登れた。約2時間を要して頂上に着く。登り始めてから5時間41分である。利尻山の頂上は茶褐色の平地で中央に利尻神社の祠がある。昼食をとり眼下の青い海と山麓そして礼文島・稚内平野を眺めていると時間を忘れ40分も頂上にいた。下山すると直ぐに急勾配で滑りやすい坂道で気を引き締め慎重に足を運ぶ。9合目からは緩やかな下りになりこの山行も峠を越えたと安心する。登山口には16時前に到着する。合計歩行時間10時間45分でコースタイムの1.57倍の時間を要したが、この山容で安全に全員が登るには妥当な時間である。参加された皆様あまり経験をしたことのない長時間歩行ご苦労さまでした。皆様のお陰で快晴に恵まれ、怪我もなく無事に下山でき、ありがとうございました。</p>						
ヒヤリハット なし						

感想文

若林 憲治

今回利尻岳登山の企画が発表された段階で半年以上経過、日本の地の果て利尻岳への挑戦が実現できた。遠隔地でも有り多分行く事も無いだろうとの思いも今回の企画 自分にとっては 渡りに船 行ってみたい山が現実可能となった。行く以上 天候に恵まれ山頂からの360度の展望に期待 日々天気予報とにらめっこ 出発前から天候は改善されてきた。是非とも登頂したいとの一念で予備日を設

定して頂けたので登頂確率は更に高く成るも、最終判断は現地で情報を得て行う事に成り 20日は礼文岳 21日は利尻岳と当初計画案から入れ替った。 20日より21日の天気は更に改善され結果 利尻岳山頂からの展望は遠くロシア領迄望む事が出来るほどの快晴に恵まれ大満足

7月19日利尻島到着後その足でケビンへ時間も有り、姫沼(影利尻岳) 夕日丘展望台に足を運びますのでこの日は 観光気分 翌日20日は足慣らしを兼礼文岳へ 490mと低山もそこ、そこの距離が有り足慣らしにはもってこいのコースで有った。下山後 フェリー 迄時間も有り島内を観光 北のカナリヤパークから望む利尻岳は、一島一山そのもので、明日21日挑戦への気持ちを更に掻き立ててくれ程美しく優雅に見えた。フェリーにて利尻港に戻り明日への鋭気を蓄え早々床に就く 利尻の二泊は利尻北麓野営場(三合目)でしたが、管理人様の対応も良くケビンは安価で、炊事場 トイレ等も完備されコテージ内は寝具も整い周りの雰囲気も良く車で数分の所に温泉もあり(三夜連続入浴)申し分ない環境で有った。利尻北麓野営場は標高230m前後に位置するも二日間共空気が澄んでいるのか夜は満点の星 鑑賞後床に就く 21日は昨日より風も収まり最高のコンデション4時35分 ケビンを出発 長官山(1,218m)を超えたあたりの胸突き八丁を超える辺りから急な登りが始まり時間を要も登頂する事が出来た。利尻岳山頂では日本 100名山達成のお祝いをする方もおられ人であふれていた。下山はより慎重に16時00分前にケビン到着

利尻岳は以前南峰の最高峰(1,721m)迄登頂可能でしたが、今登頂可能なのは北峰(1,719m)迄です。浸食によって現在の山の姿に成っております。利尻岳登山計画されておられたら早めの行動が望ましく思います。下山後三度目のお風呂に入り全員で今夜の食材買い出し宿舎の炊事場にて登頂記念祝賀会開催で盛り上がり礼文島(礼文岳) 利尻島(利尻岳)のイベントが終わった。半年前から航空券の手配 宿泊地の手配 レンタカーの手配等至る所に心配り頂き全員(11名)無事に下山出来 CLに改めて感謝申し上げたい。お疲れ様でした。ご参加の皆さん方 大変すばらしい北海道礼文 利尻の旅 いや 登山楽しかったですね お疲れ様でした。心残りはウニが高騰しており、どんぶりが 8,500円 登山者には高嶺の花 ロシアのウクライナへの侵略戦争が終わればウニも安くなるでしょう。





上空からの利尻山



宿泊所



姫沼

2022年7月19日 利尻島 姫沼にて
バックは利尻岳
藤村 中田 西川 若林 廣瀬
倉光 玉井 伊藤 北条 和田 秋山



礼文島までのフェリー

2012年11月3日撮影(北のカナリアの撮影地)



北のカナリア館



礼文岳



長官山から望む利尻山



礼文島猫岩



長官山(1218m)付近にて



北麓野営場



頂上直下の坂道